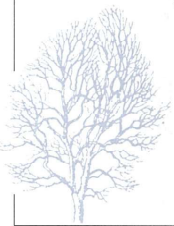


平成9年(1997年)3月15日発行

祝卒業

学位記授与式
三月二十日

贈る言葉



生涯学習の心がけで
一層の精進を

学長 神馬 敬

学部卒業生ならびに大学院修士課程の諸君、おめでとう。今日、諸君が喜びの日を迎えることができたのは、諸君の努力によることはもちろんですが、ご両親、ご家族、小学校から大学までの先生方のお力に負うところが大きいことに改めて感謝して頂きたいと思っております。



日本工業大学で諸君は工学の基礎知識を体系的に学び、考え方の訓練を受けました。また、勉学以外にも、体育祭、若杉祭、ホンダエコノパワ、燃費競技全国大会での活躍など、諸君のエネルギーは十分に発揮されました。これからの日本を支えて行く諸君のバイタリティに敬服しています。

諸君が技術者として活躍する二十一世紀は高齢化が進み、社会全体の枠組みが変革する時代です。天然資源を持たない日本が今後も繁栄を続けるためには、たとえどんなに小さなことでも製造業が強くなければならぬでしょう。現在、発展途上国との賃金格差が開いて、電気系企業を中心として汎用品の大量生産工場が海外に移転する傾向が続き、その国の賃金が高くなると、今度はもっと安い別の国に移転するということによって変化の激しい世の中です。

ここで悲観していても始まりません。発展途上国の経済力が上がって購買力が増せば、日本にとってもプラスになる点に注目し、国内での新製品開発部門を強化すること、これからの諸君の努力にかかっています。次のことを参考にしてください。

第一は、「生涯学習」です。技術の進歩に遅れず、興味を養い、自分の頭で考える。

不断の努力を



機械工学科主任
柳澤 章教授

卒業とは、文字通り「業」を「卒」(お)わる事を意味している。勿論、卒業証書にも書いてあるように、君達が「所定の課程を修了」した事は認めよう。しかし、君達が「卒業」を卒業したと考えているとしたら、それは大変困ったことである。

君達を技術者として送り出すに、まだまだ学んで頂きたいことは沢山残っている。工学的な知識、これからの日本に必要とされる最先端の技術、独創性、そして科学技術者を担う者としての倫理観等々。

卒業おめでとうございませう。本学電気電子工学科における四年間の勉学を終えて、いよいよ卒業されることに心からお喜びを申し上げます。大学を卒業して社会人となることは、人生の大きな節目の一つであるといわれています。君達は、今までの節目を迎えられたのです。どうか、ここで改めて将来を見つめて、元氣、つばい、歩を進めてください。

総合力を高めよう



電気電子工学科主任
大久保勝弘教授

卒業おめでとうございませう。君達の大多数は、エンジニアとして今後四十年以上、技術の第一線で活躍していくことになるでしょう。天然資源に恵まれず国土が狭く人口密度の高い我が国にとって優れた技術力を維持発展させることは、きわめて重要な事柄です。それには絶えず新しい技術の開発と基本的な技術の強化が欠かせません。二人、二人の双肩にかか

卒業おめでとうございませう。四年前の入学したときに期待していたことが、自分の生活が広がりましたか? 自分の技術蓄積が増えたと感じましたか?

技術者を育てるもの



建築学科主任
桑原文夫教授

大学の建築学科を卒業して一年間の実務経験を積むと、「二級建築士の受験資格」が得られます。この二年という期間は実務経験の年数としては短く、むしろ大学で勉強したことを忘れない内に試験を受けることができたと思える方が多いのではないでしょうか。だから、一級建築士の資格を取ったからといって、一人前の建築家になったとは思えません。

大学卒業後七年間の実務経験を積み、「技術士」の受験資格が得られます。こちらの場合は、一応十年選手が受験することになるのだから、一応専門技術にかなりの経験を積んでからということになります。それでも、建設に関連して、活躍を期待しています。

さて、これから!



システム工学科主任
原 利次教授

卒業おめでとうございませう。四年前の入学したときに期待していたことが、自分の生活が広がりましたか? 自分の技術蓄積が増えたと感じましたか?

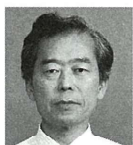
逆境への船出



共通系主任
高本 研一教授

皆さんの卒業と同時に、五十年近いこちらの教師生活が終るもの何らかの因縁で、しうが、そう安らかな気持ちにはなれないのです。振り返ると、一兵卒にな

機械工学科の宮澤肇講師
本学初の論文博士に!!



機械工学科・宮澤肇講師に、対して本学大学院工学研究科より、本大学院設置以来、初の「課程」を経ない、いわゆる「論文博士」として、博士(工学)の学位が授与された。学位論文は『レーザ加工法の高機能無機材料への適用に関する研究』というものである。本研究は、各種の材料加工用レーザ関連技術の向上を背景に、レーザ加工技術を従来の加工法によっては不可能であったり、加工特性や加工品質に様々な問題点がある高機能無機材料の加工に適用して、それらの問題点を解決し、もって同材料の新しい応用分野を開拓することを目的としたものである。同講師は、長野県立長野工業高校卒業後、東京電機大学工学部機械工学科を昭和44年3月卒業。日本トムソン(株)を経て、同45年4月から本学に奉職。

でも有難かった新米教師の頃……ヨーロッパ文明に憧れてドイツ語教師になったの、ことだったの、ある程度、そのときが君の開眼の時です。学校を卒業するいま、やれやれこれで勉強とおさらばだ(これで、これまで!)と言っているのではなく、これから新しい世界に旅立つ自分分を祝って、さて、これからと元氣よく言っている。きつと色んな先輩と出会う広い世界が待っていることだし、

勢をあらわしてこそ先輩達には眼を向けて教えてくれない。仕事の途中で壁にもぶちあたってしまう。もう一度調べたいことがある。そのときが君の開眼の時です。学校を卒業するいま、やれやれこれで勉強とおさらばだ(これで、これまで!)と言っているのではなく、これから新しい世界に旅立つ自分分を祝って、さて、これからと元氣よく言っている。きつと色んな先輩と出会う広い世界が待っていることだし、

機械工学科

平成
八年度
卒業生一覽
三月二十日付
確定者



電気電子工学科

建築学科

卒業生諸君、学位取得
まことにめでとうござ
います。

さて私は、諸君の入学

時に、学長として、どう
か実際に手を動かして考
えるという本学の伝統に
則って勉学に励んで頂き
たい」と訓辞致しました。

そこはかとなく諸君の勉
学ぶりを見守って参りま
した。その願いは十分
叶ったものと確信してお
ります。

申すまでもなく、厳し
い就職戦線の渦中で各自
が身を持って痛感された
でありましょうが、いま
産業社会が強く求めている
のは、「実践力」と「創
造力」に長けた人材です。

その理由は、いま我が
国は、未だバブル経済
の後遺症から脱し切れな
い状況にあること。また
国際的にも、あの「産業
革命」に比される情報通

信革命の流れへの立ち後れ
が指摘されるなど、何かと
難題が山積しているからに
他なりません。

しかしながら、打開すべ
き難題が多いということは
見方を変えれば、仕事に対

て果敢に仕事に取り組む姿
が指摘されるなど、何かと
難題が山積しているからに
他なりません。

一方、創造力に富んだ仕
事への希求に応えることは
なかなか一筋縄では行かな
いでしょう。しかし創造力

する取り組みの姿勢や努力
の如何で、より活躍の場が
広まっている、とも言えま
しょう。従って、私が本学
でモノ作りの実践力と理論

とを体得した諸君に期待し
たいのは、ぜひ自信を持っ
て、

「学び」の持続を



理事長
大川 陽康

に長けた多くのエンジニア
の先人たちが証すように、
学窓を出た後の学びの姿勢
が、おおよそ飽くなき好奇心が、
その成否の鍵であることは、
論を待ちません。
ちなみに知識がないと知
を築き上げて下さい。

従って、この諸君の目
出度い門出に際して力説
したい点は、ぜひ折おり
母校に恩師を訪ね、新し
い知識にふれて頂きたい、
という願いであります。
そうすれば、それを契機
に、必ず何らかのアイデ
アに結びつくヒントが得
られるものと、私は信じ
て疑いません。

恵も出ませんし、その知
恵というのは、すなわち
アイデアなのです。それ
ゆえ独創的アイデアを生
むためには、何はともあ
れ、つねに新たな知識を
身につけ、知恵をもちら
すアンテナを縦横に張り
めぐらせておく必要があ
るのです。

システム工学科



大学院工学研究科修了生

●博士前期課程
【機械工学専攻】

【システム工学専攻】

【電気工学専攻】

【建築学専攻】

◎友へ

共に語り、励まし合った学園台……
でも母校は、いつもここにある。
だから仕事で「壁」にぶつかった時や辛い時
には、この母校の庭の温もりのあるベンチに
帰って、心の時を踏もう。
歳月は移ろっても、母校は心の大地――
その大地には、生きる養分がたっぷり。
これが、この佳き日に朋友に贈る
惜別の言の葉

